

# 2014年のクリスマスはYMCAで! クリスマスの喜びをYMCAでいっしょに分ち合ひましょう!

## 【東京韓国YMCA】

### 1. 2014年YMCAクリスマスの夕べ

日時:12月14日(日)16時30分  
会場:YMCA地下スペースY  
内容:許伯基牧師によるメッセージ  
ZINO PARK 宣教師による賛美と証し等  
参加費:無料

### 2. YMCA 子どもクリスマス

日時:12月20日(土)14時  
会場:YMCA 9階国際ホール  
内容:クリスマスの歌、ゲーム、工作、サンタさんも来るかな?  
参加費:700円(きょうだい参加は二人目から500円)

## 【関西韓国YMCA】

### 関西韓国YMCA 会員クリスマス

日時:12月13日(土)18時30分  
メッセージ:岩坂正雄さん



## 今後の予定 2015年1月~3月

### 【在日本韓国】

2/7(土)2・8独立宣言第91周年記念式  
2/7(土)2014年度第2回理事会

### 【東京韓国】

12/14(日)YMCAクリスマスの夕べ  
12/18(木)~21(日)南北コアと日本のともだち展・東京展(こどもの城)  
12/20(土)子どもクリスマス  
12/26(金)子どもコリアウィンタースクール  
1/17(土)~1/27(火)日本語学校「冬の東京体験」  
1/19(月)第237回教界指導者朝餐祈禱会  
2/7(土)2014年度第3回理事会

### 【関西韓国】

12/6(土) 第3回四季を彩る韓国料理「トミチム&トック&オイソソ」  
12/6(土) 第43回生野区民クリスマス(小路小学校)  
12/12(金)~14(日) 南北コアと日本のともだち展・大阪展(大阪国際交流センター)  
12/13(土) YMCA会員クリスマス(メッセージ:岩坂正雄さん)  
1/9(金) 第117回 教界指導者早天祈禱会(老田信牧師)  
1/17(土) 2014年度第3回理事会  
1/23(金) 第6回生野地域活動協議会(大阪聖和教会)  
2/1(日) 生野つながりゲーム大会「日韓の正月遊びを楽しもう」(KCC)  
2/4(水) 2・8独立宣言第96周年記念礼拝(場所:京都南部教会 説教:楊炯春牧師)  
2/8(日) ひらかた冬のつどい

### 【編集後記】

- 急に寒くなりました。あったかい服が欲しいです。って毎年言ってる気がします(笑)(才)
- 15年ぶりにツリーを買い換えました。おっきなツリーに鈴をいっぱいつけました。クリスマスが待ち遠しいです。(林)
- 年末休暇の旅行を楽しみに、12月の忙しさを乗り越えよう!(た)
- 「おしゃべりクッキング」がいっぱいです。(白)

KAKEHASHI かけはし 2014 Dec. vol.17

発行人:金秀男 発行:在日本韓国YMCAアジア青少年センター  
〒101-0064 東京都千代田区猿樂町 2-5-5  
TEL: 03-3233-0611 FAX: 03-3233-0633  
http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/  
ayc@ymcajapan.org



『かけはし』次号は2015年3月発行予定です。

Twitter: @zainichiymca Facebook: Korean YMCA in Japan  
より良い紙面つくりのために、ご意見・ご感想等お寄せください。



# 日本語ボランティアチューターを経験して

柳田 亜由美 (やなぎた あゆみ)

大学に入学した当時、私には日本語と英語以外の外国語を真剣に勉強しようという思いがありました。しかし、何語を始めようかと悩んでいた時、ある同級生の韓国人に出会いました。それから、私は韓国語の勉強を始め、その魅力にみるみるはまっていきました。それまで韓国は歴史的な問題や政治的なことから、日本と遠い国という印象がありました。しかし、旅行や韓国人との出会いを通し、実際に経験したことで今まで持っていた韓国のイメージは変わりました。これをきっかけに、もっといろいろな国や人を知り、自分の身をもって感じてみたいと強く思いました。

私がボランティアチューターをやろうと思ったきっかけは、日本に来ている外国人留学生のために何か力になりたいと思ったこと、いろいろな世界の人を知ることで様々な考えや広い視野を持

ちたいという思いからでした。YMCA 東京日本語学校では、週1回のボランティアチューターの他に、授業に参加させて頂く機会や、交流会、バザー、クリスマス会等があり、毎回楽しく参加させて頂きました。留学生のみなさんは、一人ひとり個性があり、まだ日本語を勉強してあまり日にちが経たない方も、自分の知っている単語を使って何とか伝えようとしてくれ、一生懸命に日本語を勉強している姿が印象的でした。私が日本語学校を訪れた際はいつでも明るく迎えてくれて、その純粋さと素直さに元気をもらうことがよくありました。休みの日には一緒に遊園地へ行ったり、高尾山へ登ったり、ご飯を食べに行ったり、クラスメイトのように接してくれた留学生のみなさんには本当に感謝しています。

日本語学校をみていて思ったことがあります。それは、ここでは政治や国同士の問題など関係なく、人として向き合い、付き合っているということです。もちろん国が違えば言葉が違ふ、文化も異なります。しかし、留学生たちを見てみると、その違いをプラスに受け止めてお互いに理解しようと歩み寄っている姿が見られました。きっと人はお互いに理解し合い、思いやりの心を持ち続けければ、

いつかは理解しあっているのではないかと思います。このボランティアを通して、感じたことや経験、たくさんの方の留学生と知り合うことができた思い出は全て、私にとって大きな宝物です。



左:日本語学校クリスマス 上:バザー打ち上げ

## 聖書に聴く 第17回 李應周 牧師(イ・ウンジュ)

愛の贈り物は誰がもらえるのか?  
(ヨハネによる福音書3:16、エフェソの信徒への手紙2:8)

年末になるとスーパーや道端で聞こえてくる音楽は、クリスマス・キャロルである。クリスマスの主人公であるイエス・キリストの誕生を祝うメッセージ、イエスがすべての人びとに一番大切な愛の贈り物を持ってこの地に来られたという聖なるメッセージが、キャロルを通して今年も耳に入ってくる。一年を終えるこの時期に聞こえてくる聖なるメッセージに耳を傾けながら、人々は皆、できることなら長生きし減びることのない永遠の命を受け、永遠の世界に行くことを願っている。すべての人々にとって、また誰もが必要とする愛の贈り物とは、永遠の命という贈り物である。

聖書に「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ」(ルカ2:13-14)と、天軍の天使たちが神を賛美したと記されている。今も世界各地で対立と紛争が絶えず、自然災害も加わり、地球村は平和でない状態が続いている。ところで、「地には平和、御心に適う人に」とあるが、果たしてそれが御心に

適う人々であろうか。「マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである」(マタイ1:21)とある。イエスがこの地へ遣わされた目的について、イエスご自分の民を罪から救うのだと聖書は伝えている。神からすべての人びとに大きな贈り物としてイエスが遣わされ、「独り子イエスを信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得る(ヨハネ3:16)」と聖書は証しているのである。

それでは、この素晴らしい贈り物は誰がもらえるのだろうか。まだイエスを信じる信仰に躊躇しているなら、今こそ決断しなければならぬ。イエスは十字架にかけられ、「わたしたちの罪ばかりでなく、全世界の罪を償ういけにえ」(ヨハネの手紙2:2)として、すべての人びとを永遠の世界に導かれるためにこの地へ遣わされた。「主の名を呼び求める者は皆、救われる」(使徒言行録2:21)と記されている。「事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です」(エフェソ2:8)。愛の贈り物は、イエスを信仰によって心に受け入れるものが受け取るのである。

## 連載 東京の中の韓国を巡る【第9回・～駐日韓国文化院～後編～】

才門勇介(「かけはし」編集委員)



「東京の中の韓国を巡る」第9回は、駐日韓国文化院の続編をお送りします。前回、駐日韓国文化院にお邪魔した際には、土曜日で図書映像資料館しか開いておらず、ギャラリーも準備中でした。そこで、日を改めてお邪魔することにしました。

今回の目的は、開催中(11/29まで。残念ながらかけはしの発行日には終了しています)の「チャレンジ・アート・イン・ジャパン 2014」を見学することです。

「チャレンジ・アート・イン・ジャパン 2014」は駐日韓国大使館、韓国文化院が主催する、韓国から日本の美術系大学に留学している学生たちの展覧会です。多摩美術大学、武蔵野美術大学、東北芸術工科大学、女子美術大学、東京藝術大学、東京デザイナー学院、東京工業大学などに在籍する現役の留学生や卒業生の作品が展示されています。

早速2階のMI ギャラリーに向かいます。他の人があまりいなかったせいで、とても静かな中に作品が並びます。特に美術に造詣が深い訳ではない僕も1つ1つの作品に引き込まれます。

静かな迫力。

芸術はいろいろな物が触発し合っておこる化学反応であると感じることがあります。そうであるならば、それは文化の融合によってもおこります。そういう意味では、日本と韓国という地に住み、両国の文化に触れた彼らの作品に力強さがあるのは納得できます。

ロシアの音楽家ムソルグスキーの言葉に「芸術はそれ自身が目的ではない。人間を表現するための手段である」とあります。日本に留学することで、彼らにより一層深い人間性を身につけ、それを表現して行くのであろうことが感じられ、とてもうれしく、頼もしく感じました。

韓国文化院では他にも色々な催しが予定されています。

近いところでは日本と韓国の児童たちの作品が展示される、第35回 日韓児童作品交流展(12/2～7)や第59回 創作美術協会国際展(12/9～13)などがあり、また定期的に韓国映画上映会や公演等も開催されています。そのほとんどが入場無料で貴重な体験が出来るモノです。是非一度、韓国文化院のHPのイベントカレンダーをチェックしてみてください。

## パレスチナ・東エルサレムYMCAに募金を伝達



毎年開催されているオリーブ平和映画祭の収益や東京センチナルYサービスクラブからの支援によって集められた募金2000米ドルを、このたび東エルサレムYMCAの子どもプログラム支援のために寄付いたしました。寄付金は、10月にパレスチナ・オリーブピッキングプログラムに参加して下さった長尾有起さん(早稲田教会伝道師:写真左)に持参いただきました。東エルサレムYMCA アンドレ総主事(写真右)からのメッセージを紹介します。

「日本のYMCAが東日本大震災から回復してきていると聞き、とても嬉しく思います。またこのように献金をいただいたことに心から感謝いたします。東エルサレムYMCAは各ランチがまだまだ発展途上で、やるべきことがたくさんあります。みなさんからの献金が集まればすぐに必要な場所に使い、地域の人々に利用していただいています。東エルサレムYMCAのプログラムや施設を直接見てくださった方々は、これまでも喜んで東エルサレムYMCAを支援してきたが、素晴らしいプログラムや施設を見て、もっと支援をしたくなる

と言ってください。そのことを非常に嬉しく、また誇らしく思います。

日本の皆さんとつながっていることを幸せに思います。ドイツのユースとのワークキャンプのように、日本のユースとも直接つながることができるプログラムができればと願っています。これからも我々のつながりがより強く、より深くなることを願います。」

## 東日本大震災被災地支援募金継続実施中

### 募金の送り先

窓口持参または郵便振替で下記にご送金ください。  
 (「東日本大震災募金」とご記入下さい)。  
 00190-4-539049 在日本韓国 YMCA

東日本大震災の被災地支援を目的として  
 「YMCA東日本大震災被災地支援募金」を引き  
 続き受付けております。

## 2014年9月～11月のプログラム

### 東京韓国YMCAの活動

#### Yわいフェスティバル2014～YMCAバザー開催

本会恒例のバザー、Yわいフェスティバル2014が11月15日(土)、晴天の中、行われました。このバザーは本会の会員や日本語学校学生およびたくさんの方のボランティアの協力のもと、収益を多文化共生のために働く各団体に支援することを目的として、毎年開催されています。

今年も各国の民族料理屋台(韓国、スリランカ、台湾、中国、ベトナム、香港)をはじめ、韓国物産市、掘り出し献品市、古本市などが盛況のうちに行われました。東日本大震災被災地支援コーナーも設けられ、被災地である岩手県宮古から直接仕入れた特産品を販売しました。

イベント会場では、カヤム演奏や梅干し種飛ばしゲーム、日本語学校学生による歌の発表などが続き、サムルノリで最高に盛り上がったところで、皆、お待ちかねの抽選会が行われました。今回一等賞として用意された「東京ディズニーリゾートペアチケット」は、ずっと子どもプログラムに参加してきた子どものメンバーに当選し、祝福の大きな拍手が送られました。



今年は、例年を上回る収益を得ることができました。献品や献金、ボランティアなどで協力していただいた方々に、深く感謝申し上げます。

#### 関東大震災91周年記念追悼合同早天礼拝



関東大震災(1923年)の翌年に行われた朝鮮人被害者追悼集会、追悼礼拝に起源をもつ、毎年恒例の韓日キリスト者合同による早天礼拝が、今年も9月1日の朝、東京YMCA、東京聖市化運動本部との共催により、本会9階ホールを会場として行われました。今回は、洪性完牧師(在日大韓基督教会前総幹事)より「何をあてにして生きる」と題したエゼキエル書37章に拠るメッセージをうかがいました。『関東大震災「朝鮮人虐殺」はなかった』などという書名の本が書店で平積みになって売られているような、歴史修正主義が勢いを増す状況の中での開催となりましたが、歴史から目を背けず、事実を深く心に刻み、過ちを決して繰り返すことのないよう努力すべきことを、参加者が共に誓う時間となりました。

### 関西韓国YMCAの活動

#### 四季を彩る韓国料理



秋のメニューは秋夕(チュソク:旧暦8月15日)の料理であるトランタン(里芋のスープ)とペスク(梨のコンポート)、そして季節の一品としてホバクソン(韓国かぼちゃの蒸し物)を作りました。

五色の彩り鮮やかで見た目にも美しく形も凝った一品一品を作る細かい作業も、先生の指示をききながらてきぱきと進め、美味しい味をだすための下味や味付けのコツにはなるほどうなずきながら手を動かし、参加者全員の素晴らしいチームワークで料理が完成しました。

試食タイムは料理にまつわる話に始まり韓国の友人宅での茶礼(チャレ)体験談、韓国語学習の話など様々な話題で楽しく交流し、お腹も心も満足して後片付けをし、プログラムを終えました。

小林利子(こばやし・としこ)

#### 国際協力の日

毎年教会・キリスト教団体が教派を超えて集まり、外国人が暮らしやすい社会は日本人にも暮らしやすいというテーマで「国際協力の日」というイベントを玉造のカトリック大聖堂で行っています。関西韓国YMCAは昨年引き続き10月19日(日)に行われたこのイベントにチヂミとトッポキの屋台で参加しました。

韓民芸科のメンバー、日本語教室の受講生あわせて12名が朝からYMCAの厨房で仕込みをスタートしました。昼には会場に移動して販売を始めましたが、そこでは様々な国の人たちの食べ



物の屋台が並び、にぎやかで壮観でした。ステージでは歌や踊りなど、日本に住んでいる外国にルーツを持つ人びとの様々な文化に触れ、楽しむことができました。

金弘明(キム・ホンミョン)